

9月28日(月)

## 悲しみの中での礼拝

聖書朗読 ヨブ1:13~22

たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわいを恐れませんが、あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。

詩篇23:4

私はこの状態に直面した時のヨブの反応に驚嘆しました。彼は自分の状況が最悪な時に神様を礼拝したのです。私たちが痛ましい人生を覆すような出来事を経験した時、どのように礼拝し続けることができるのでしょうか。

ホラティオ・スパフォードは1871年のシカゴ大火事で財産を失った数ヶ月後に、4歳の息子を猩紅熱で亡くしました。悲惨さはそこで止まりませんでした。その2年後、彼の娘4人が大西洋を航行中に他の船と激突して溺死し、彼の妻だけが生き残りました。

ホラティオは救助されてイギリスにいる妻を迎えに行くために船に乗り、娘が亡くなった場所に着いた時、「静けき河の岸边を」の歌詞を書き留めました。

私たちは、ホラティオとヨブから何を学ぶことができるでしょう。悲しみの中で彼らはどう礼拝したのでしょうか。ホラティオとヨブは「なぜ」そういうことが起こったのか理解してはいませんでした。悲しみの中でも礼拝することを選びました。彼らは神様の祝福と信仰に焦点を当てました。つまり、彼らは自分の経験の悲惨さを憐れむのではなく、神様を礼拝することを選んだのです。どう応えるかは私たちの選択に任されています。悲しみの中でも礼拝することを選択するという十分な信頼を神様に寄せることができますように。

讃美歌 520 (静けき河の岸边を)

祈り 親愛なる神様、喜びの時にも悲しみの時にもあなた様を礼拝することが出来ますように。あなた様は私の岩です。

イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

ジーナ・D・ゴードン

サウスカロライナ州 ミュレルズインネット

## 今日のカ

2020年9月28日~10月4日

翻訳 ハンコック・真由美

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月29日 (火)

## 誰を信頼できるか？

聖書朗読 詩篇9

御名を知る者は あなたに依り頼みます。主よ。あなたはあなたを尋ね求める者をお見捨てになりませんでした。  
詩篇9：10

電話が鳴ります。電話口で「ナイキの靴とアマゾンプライムの商品一年分をご購入なさいましたでしょうか。」と質問されます。続いて流れるのがこれです。「ご購入されていない場合はダイヤル1を押してください。」身の覚えのないあなたは、ダイヤル1を押します。すぐさまあなたはセキュリティセンターに繋がれます。「この商品をご購入なさいましたか。カナダにお知り合いはいらっしゃいますか。申し訳ございませんでした。返金させていただきます。新しい暗証番号をお作りになられるようにご案内しております。」あなたはその言葉を信頼し、ウェスタンユニオン銀行から早く返金されるように口座番号など重要な情報を電話口のオペレーターに話します。そして、あなたは、その詐欺の電話に引っかかり、騙されてしまうのです。

こういう経験がおありですか。もし、あるとするならば、あなたは騙されやすいタイプなのかもしれません。誰かを信頼したことが悲惨な結果に繋がることがあります。人は見かけによらない時があります。では、騙されやすいあなたは誰に信頼を置くことができるでしょうか。

聖書の中にその答えがあります。「心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主があなたの道をまっすぐにされる。」(箴言3：5～6)。

神様は変わることがありません。神様は一貫しておられ 信頼できるお方で嘘をつくことはありません。(へブル6：18) 神様はあなたを強め、あなたの盾となって守ってくださいます。あなたを置き去りにすることは決してないし、忘れることも決してありません。神様は全くもって信頼できるお方です！

聖歌 424

祈り 神様、この世には信頼できない人が多くいます。あなたを信頼する強い意志と勇気をください。

イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

コニー・シムキンズ・トーマス  
ケンタッキー州セント ワシントン

9月30日 (水)

## 言葉に出来ないとき

聖書朗読 詩篇23

あなた方の敵を愛しなさい。あなたを憎む者に善を行いなさい。

ルカ6：27

地方紙の編集者であるスティーブがエイズにかかり、死期が近づいていました。彼は、反キリスト者で、紙上で私の夫が伝道者である教会を度々批判していました。

スティーブが重篤な状態に落ちいった時、彼の両親は、彼の住まいに駆けつけ、彼と共に過ごしていました。そんなある日、スティーブの母親から私の夫に電話がありました。「息子があなたに会いたがっています」と言うのです。私の夫は、彼が教会を幾度となく批判した記事を書いていたことはよく覚えていましたが、すぐにお見舞いに行く約束をしました。

夫がスティーブの家に着くやいなや、彼の母親は、自分の息子が寝ている寝室に連れていきました。スティーブは夫に何かをささやきましたが、聞き取れません。すると、母親が通訳をしてくれました。「あなたに祈って欲しいそうです。」

夫は数秒間、何を祈ったらいいのかを思い巡らしました。「長年私が敵だと思っていた人のために何を祈ればいいのか」と。そしてスティーブの手を取り、詩篇23篇を祈り始めました。23篇を読み終えると彼は微笑み、夫の手を固く握りしめ目を閉じました。

神様はおっしゃいます。「あなた方の敵を愛しなさい。あなたを憎む者に善を行いなさい」あなたの敵のために祈る言葉が見つからない時、みことばを通して祝福してください。

讃美歌 280

祈り お父様、敵を愛し、善を行ない、祝福しなさいというみことばを読みました。それは難しく自然にできることではありませんが、私たちの心を柔らかくして他の人を愛することができますように。それは、あなたがその人たちを愛しているからです。

イエス様のお名前を通して御前にお捧げいたします。アーメン。

サリー・ジェイン・シャンク  
オクラホマ州 エドモンド

10月1日(木)

## 神様は道を導かれる

聖書朗読 詩篇25:8~10

私を義の道に導かれます。

詩篇23:3

彼は悲しく寂しく感じていました。親もなく、家もない。よくわからない病気にかかり、歩くこともできない。障害のある子供のための孤児院の中で、良いものを見出そうとするのは難しいです。「どうして僕がこんな目に合うのか？」と彼は思っていました。

その病気から回復の兆しが見えた丁度その時、彼は、あるクリスチャンの夫婦に出会いました。その夫婦は彼に愛を注ぎました。そして、彼らの息子として一緒に住むことになりました。彼はクリスチャンになり、伝道者になる勉強をし、天に召されるまで50年間 神様にお仕えたのです。振り返ると、どのように神様が彼の道を導かれたのかがわかります。

ヤコブのお気に入りの子のヨセフは、彼に嫉妬し彼を嫌う兄たちに売られ、突然奴隷として何年も過ごすことになったとき、悲しく寂しくなったでしょうか。彼は、「どうして僕がこんな目に合うのか?」「なぜ奴隷にされたのか?」「なぜ濡れ衣を着せられたのか?」「なぜ牢に入れられたのか?」と思ったかもしれませんが、それで自分を憐れむだけで時間を費やしてはいませんでした。

ヨセフは神様に信頼し、神様に従いました。そして、神様はヨセフを神様の目的のためにお使いになりました。振り返ると、どのように神様がヨセフの道を導かれたのかわかります。ヨセフは兄たちにこう言いました。「あなたがたは私に悪を計りましたが、神はそれを良いことのための計らいとしてくださいました。」(創世記50:20)

この2つの話は、神様は私達に何かを教えようとするとき、または神様が導きたい道に私達を導く時に、病気や悩みや困難な状況をお使いになるのだと思ひ出させてくれます。

讃美歌 285

祈り 親愛なる神様。あなた様の愛とお心遣いをありがとうございます。神様が私達を導いてくださることと、暗い日々が祝福に繋がることもあるのだと信頼することができますように。

イエス様のお名前を通して。アーメン。

リンダ・ウエスブルック

テネシー州 ホワイトハウス

10月2日(金)

## 賢い人

聖書朗読 詩篇53

十字架のことは、滅びに至る人々にとっては愚かであっても、救いを受ける者たちには、神の力です。  
Iコリント1:18

あなたが知っている中で一番賢い人は誰でしょう。最先端のがん治療の研究をしている科学者ですか。たくさんの学位を持ち、何ヶ国語も流暢に話せる人ですか。こういう人たちは、頭が良くて賢いように見えますが、神様の目から見ると、賢くはありません。

ダビデは、詩篇の中で真に賢い人は神を理解し神を求める者であると述べています。彼は神様の存在を否定する人たちのことを「愚か者」と表現しています。これはその人たちが知識を持たない愚か者という意味ではなく、道徳的に墮落しているという意味です。彼らは悪を行い、パンを食べるように貪ります。彼らには本当の意味の知恵がないのです。

パウロは、神様は世の知恵を愚かにされたと述べています。(1コリント3:19) 彼はこの世の知恵のある物を辱めました。イエス・キリストにある命と知恵と義と聖別と罪の贖いの源が神様なのです。突き詰めていきますと、神様のみが私たちが知るに値するお方です。神の内に生きていることを喜びましょう。

讃美歌 この日は主がつくられた

祈り 親愛なる神様。私たちの罪のために、そして私達を救うためにイエス様を送ってくださったあなた様の知恵に感謝します。犠牲を払ってくださって、死んで、死の代価を払ってくださり、聖霊をくださってありがとうございます。イエス様を死からよみがえらせてくださり希望をくださったことを感謝いたします。

イエス様のお名前によって。アーメン。

J・リチャード・トンプソン

テネシー州 ナッシュビル

10月3日(土)

## 第一のことを第一にする

聖書朗読 詩篇62

主はわが巖、わがとりで、わが救い主

詩篇18:2

ダビデは神様のみこころを追求する人でした。若い頃は人里離れて羊と一緒に羊飼いとして暮らしていましたので、神様と話したり 神様のことや神様への思いを書き留めたりする時間が十分にありました。もしかしたら、それはダビデが神様とやりとりをすることの心地良さを味わう時間となったのかもしれませんが、神様はダビデに耳を傾けてくださいました。

この詩篇の中でダビデは、2度繰り返して黙って神を待ち望み、岩と救いとなってくださる神様に信頼することを書いています。神は避け所であるということばは彼の信仰を強め、彼を励ましました。ダビデは素晴らしい信仰の持ち主ですが、彼に反する者に対して、否定的な思いも詩篇62篇の3節、4節に記しています。

人生の中で困難が押し寄せてきた時どのように立ち向かえばいいのでしょうか。難しい決断を迫られた時にはどうすればいいのでしょうか。苦しみにあったときや 努力が報われない時にはどうすればいいのでしょうか。そういう時には、強められ励まされるダビデの詩を自分の人生に当てはめ、「力は神のものである」ということを改めて心に留めて下さい。

聖歌 472

祈り お父様。あなたは私たちの全ての苦しみをご存知であると知っています。あなたの大きな力を持ってあなたを信頼させてください。

イエス様のお名前を通してみ前にお捧げいたします。アーメン。

ノーマ・プリビット

カルフォルニア州 サザンオークス

10月4日(日)

## 喜び叫べるか?

聖書朗読 詩篇66:1~7

さあ、神のみわざを見よ。神の人の子らになさることは恐ろしい。詩篇66:5

正直に申し上げますと、今現在、私はこの詩篇66編を読んでもしっくり感じられません。私は楽道家ではありませんし、喜び叫ぶような性格ではありません。しかし、そうすべきなのかもしれません。一節には「神に向かって喜び叫べ」と書いてあります。

しかし、どうやって喜び叫ぶのでしょうか?悪はこの世のあらゆるところにはびこっています。多くの分野で悪は成功を収めているように見えます。多くの人たちが現在のことのみに焦点を当て、その結果 現実を否定したり落ち込んだりしてしまいます。

よりバランスのとれた見方をするには、モーセの誕生において悪が勝利したように見えたことを忘れてはいけません。つまり、その時は、まずエジプトにおいて「ヨセフを知らない」王が立てられました。彼は神の民を奴隷として用い迫害しました。エジプトでのヘブル人への迫害は、紅海を渡って逃げ出すまで80年間以上続きました。(出エジプト7:7)

詩篇66篇では神様の偉大な御力のことと神様は全地が伏し拝む方であることがありますが、「神は海を乾いた所とされ」までには長い時間がかかっています。神様を信じるヘブル人にとっては、長い長い忍耐の時があったのです。

主において喜びを持つには、絶えず神様が過去に何をしてくださったかを思い起こし、将来何をしてくださるかを待ち望んでいなければなりません。詩篇の著者は、エジプトでの迫害と紅海での勝利を追憶し喜びました。私たちが神様に救い出された時のことを思い出してください!私たちは、現在という短いスパン(時間の幅)だけを見るのではなく、神様であって、過去、現在、未来という長いスパンで考えなければいけません。そうすることによって、私たちは神に向かって喜び叫ぶことができるのです。

讃美歌 354

祈り 主よ。間違ったことに焦点を当ててしまうことを許してください。あなた様の究極で確かな勝利を待ち望むことができますように。

イエス様のお名前によってお願い申し上げます。アーメン。

セイヤー・サラスブリー

オハイオ州 トレド